

第4次静岡県環境基本計画 進捗管理指標（案）

資料2

大柱	指標（案）	現状値	中間目標値 （令和7年度）	目標値 （令和12年度）	指標の区分	指標の説明	担当課
1 脱炭素社会の構築	県内の温室効果ガス排出量の削減率（H25年比）（%）	△13.0% （H30年度）	算定中	△46%以上 （検討中）	成果指標	2018年度と比較した県内の温室効果ガス排出量の削減率 （県環境政策課調査）	くらし・環境部 環境政策課 （地球環境班）
	ふじのくにCOOLチャレンジ「クルポ」アクション数（件）	159,518件/年 （R2年度）	360,000件/年	算定中	活動指標	県、企業、団体、市町で構成するふじのくにCOOLチャレンジ実行委員会が実施するアプリ「クルポ」を通じて、県民が温室効果ガス削減に寄与する行動をした回数（ふじのくにCOOLチャレンジ実行委員会調査）	くらし・環境部 環境政策課
	再生可能エネルギー導入量（原油換算：万kl）	97.3万kl （R元年度）	算定中	算定中	成果指標	県内における再生可能エネルギーの導入量 （経済産業省資源エネルギー庁公表資料、県エネルギー政策課調査）	経済産業部 エネルギー政策課
	カーボンニュートラルに関わる研究開発・事業化支援件数（件）	調査中	算定中	算定中	活動指標	カーボンニュートラル関連の研究開発等の支援件数 （県新産業集積課調査）	経済産業部 新産業集積課
	次世代自動車分野における試作品開発等支援件数（件）	調査中	算定中	算定中	活動指標	次世代自動車の試作品開発等支援件数 （県新産業集積課調査）	経済産業部 新産業集積課
	ふじのくにCNFプロジェクトにおける試作品開発等支援件数（件）	調査中	算定中	算定中	活動指標	CNFの試作品開発等支援件数 （県新産業集積課調査）	経済産業部 新産業集積課
	森林の多面的機能を持続的に発揮させる森林整備面積（ha）	10,144ha （R元年度）	11,490ha	11,490ha	成果指標	森林の多面的機能が持続的に発揮される適切な状態に保つために必要な植栽、下刈、間伐等の整備を行った森林の面積 （県森林整備課調査）	経済産業部 森林整備課
	木材生産量（万m <sup>3</sup> ）	42.1万m <sup>3</sup> （R2年度）	50万m <sup>3</sup>	50万m <sup>3</sup>	成果指標	県内の森林から生産した丸太の体積（暦年） （県森林整備課調査）	経済産業部 森林整備課

第4次静岡県環境基本計画 進捗管理指標（案）

資料2

大柱	指標（案）	現状値	中間目標値 （令和7年度）	目標値 （令和12年度）	指標の区分	指標の説明	担当課
2 資源循環社会の構築	一般廃棄物排出量（1人1日当たり）（g/人・日）	885g/人・日 （R元年度）	算定中	算定中	成果指標	一般廃棄物（家庭から排出されるごみと、事業活動に伴って発生するごみのうち産業廃棄物以外のごみ）の県民1人1日当たりの排出量 （県廃棄物リサイクル課調査）	くらし・環境部 廃棄物リサイクル課
	産業廃棄物総排出量（千t）	10,004千t （R元年度）	算定中	算定中	成果指標	産業廃棄物の1年間の総排出量 （県廃棄物リサイクル課調査）	くらし・環境部 廃棄物リサイクル課
	海洋プラスチックごみ防止 6R県民運動の清掃活動の延べ参加者数（万人）	18万人 （R2年度）	50万人	算定中	成果指標	海洋プラスチックごみ防止の実践活動の1つである清掃活動に参加した県民の延べ人数 （廃棄物リサイクル課調査）	くらし・環境部 廃棄物リサイクル課
	市町や事業者に対する研修会やセミナー等の開催回数 （回）	15回 （R2年度）	15回	15回	活動指標	一般廃棄物及び廃棄物排出量減少のため県が実施する研修会やセミナーの開催回数 （廃棄物リサイクル課調査）	くらし・環境部 廃棄物リサイクル課
	県が実施するサーキュラーエコノミーにつながる啓発講座の参加者数（人）	調査中	算定中	算定中	活動指標	県が実施するサーキュラーエコノミーにつながる啓発講座の参加者数 （廃棄物リサイクル課調査）	くらし・環境部 廃棄物リサイクル課

第4次静岡県環境基本計画 進捗管理指標（案）

資料2

大柱	指標（案）	現状値	中間目標値 （令和7年度）	目標値 （令和12年度）	指標の区分	指標の説明	担当課
3 良好な生活環境の確保	水の出前教室実施回数（回）	140回 （R2年度）	140回	140回	活動指標	水資源の大切さについて県民に理解を深めてもらうため、学校のカリキュラムで環境を学習する小学4年生を対象とした出前教室の実施回数 （県水利用課調査）	くらし・環境部 水利用課
	地下水位の観測箇所数（箇所）	148箇所 （R2年度）	153箇所	153箇所	活動指標	県民の有用な資源である地下水の持続的な利用と保全を図るため、水位低下等の異常を早期に把握する観測箇所数 （県水利用課調査）	くらし・環境部 水利用課
	水道法水質基準不適合事案の件数（件）	3件 （R2年度）	0件	0件	成果指標	水道施設における水質検査の不適合検体数 （県水利用課調査）	くらし・環境部 水利用課
	污水处理人口普及率（％）	82.2％ （R元年度）	88.1％	91.5％	成果指標	污水处理施設を使える人口の割合 （国、県生活排水課調査）	交通基盤部 生活排水課
	水質が改善した河川数（河川）	0河川 （R2年度）	12河川	12河川	成果指標	県内の42河川で指定している環境基準の水域類型を上位区分に見直した河川数 （県生活環境課調査）	くらし・環境部 生活環境課
	水質汚濁防止法特定事業場への立入検査の実施回数（事業場）	380事業場 （R2年度）	380事業場	380事業場	活動指標	水質汚濁防止法に基づく立ち入り件数 （県生活環境課調査）	くらし・環境部 生活環境課
	浄化槽法定検査受検率（％）	22.4％ （R元年度）	34.4％	算定中	活動指標	浄化槽総設置基数に対する法定検査を受検した浄化槽の割合 （県生活環境課調査）	くらし・環境部 生活環境課
	大気環境測定局の有効測定局数（局）	81局 （R2年度）	94局	94局	活動指標	年間の測定時間数が6,000時間（微小粒子状物質は250日）を超え、環境基準の長期的評価対象となる大気環境測定局の数（国基準に準拠） （県生活環境課調査）	くらし・環境部 生活環境課

第4次静岡県環境基本計画 進捗管理指標（案）

資料2

大柱	指標（案）	現状値	中間目標値 （令和7年度）	目標値 （令和12年度）	指標の区分	指標の説明	担当課
4 自然共生社会の構築	県内の野生生物の絶滅種数（種）	0種 （絶滅：12種） （R2年度）	0種 （絶滅：12種）	0種 （絶滅：12種）	成果指標	県内では植物3種、哺乳類2種、昆虫類6種、陸・淡水産貝類1種の合計12種が絶滅しているが、さらに絶滅した種数 （県自然保護課調査）	くらし・環境部 自然保護課
	一定規模以上の開発行為に伴う 自然環境保全協定締結率（%）	100% （R2年度）	100%	100%	活動指標	自然環境保全条例に基づく一定規模以上の開発行為に伴う自然環境保全協定の締結率 （県自然保護課調査）	くらし・環境部 自然保護課
	地域の緑化活動団体数(団体)	187団体 （R2年度）	累計300団体	算定中	成果指標	(公財)静岡県グリーンバンクが支援する緑化団体数 (グリーンバンク環境緑化事業実績報告)	くらし・環境部 環境ふれあい課
	森づくり県民大作戦参加者数（人）	11,898人 （R2年度）	28,000人	策定作業中	成果指標	森づくり団体等が各地で開催する森づくり県民大作戦の参加者数（県環境ふれあい課調査）	くらし・環境部 環境ふれあい課

第4次静岡県環境基本計画 進捗管理指標（案）

資料2

大柱	指標（案）	現状値	中間目標値 （令和7年度）	目標値 （令和12年度）	指標の区分	指標の説明	担当課
5 環境と調和した社会の基盤づくり	環境経営に関する制度等への参加事業者数（者）	新規参加70者 （R2年度）	毎年度 新規参加70者	毎年度 新規参加70者	成果指標	環境経営に関する以下の制度等に新たに参加する県内事業者数の合計（エコアクション21、RE100、RE Action、SBT、TCFD） （各制度事務局発表資料）	くらし・環境部 環境政策課
	SDGs・ESGセミナーへの参加者数（者）	165者 （R3年度）	毎年度 170者以上	毎年度 170者以上	活動指標	県主催の企業向け普及啓発セミナーの参加者数 （環境政策課調査）	くらし・環境部 環境政策課
	環境保全活動を実践している若者世代の割合	69.6% （R2年度）	76.0%	80.0%	成果指標	県民意識調査に回答した10～30歳代の県民のうち、環境保全活動を実践している人の割合。（県広聴広報課県政世論調査）	くらし・環境部 環境政策課
	県が、SNS、動画を活用して環境教育に関する情報発信を行った回数（回）	34回 （R2年度）	毎年度 40回以上	毎年度 40回以上	活動指標	SNS、動画を活用し、環境教育に関する情報を発信した回数の合計 （県環境政策課調査）	くらし・環境部 環境政策課